

山梨大学医学部附属病院

号室

入院薬剤管理指導（依頼する・依頼しない）

主治医 印

担当医

病室の入り口の氏名を表示することに同意（する・しない）

病棟師長

担当看護師 担当管理栄養士

特別な栄養管理の必要性（あり・なし）

患者番号： 平成 年 月 日 患者又は代理者サイン 印

病名：		症状：						
外来チェック項目		入院日	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
<input type="checkbox"/> 薬剤指導	行動範囲	安静度自由です 転倒しないよう気をつけてください		術後はベットアップ 60度まで可能です		車椅子に移動できます (看護師が介助します) トイレ移動ができます		自分で車椅子に移ります
<input type="checkbox"/> 感染症 (同意書)	検査		採血	手術後の採血	採血	(採血)		
<input type="checkbox"/> 血液型	薬	* 毎週木曜日に薬剤師による薬剤指導を行います	薬剤師が注射薬・内服薬について説明をします	手術前に点滴や注射をすることがあります 手術後、抗生物質の点滴をします	抗生物質の点滴を朝と夕方にします 手術前に飲んでいた飲み薬を再開します		抗生物質を点滴から飲み薬に変更します	
<input type="checkbox"/> 自己血	処置		入浴をします 足の爪を切ります 夜8時に浣腸をします	時 分頃 手術室に入室します その前にストッキングをはいて手術着に着替えます 準備はその都度看護師が声をかけます		関節の中に入っていた管と背中に入っていた痛み止めの管、尿の管を抜きます		
<input type="checkbox"/> 心電図								
<input type="checkbox"/> 呼吸機能								
<input type="checkbox"/> 術前採血	リハビリ					車いすにて移動します	機械を使って膝の曲げ伸ばしを始めます(退院まで続けます) * 必要な回数と時間があります タオルを使って膝を曲げる訓練を始めます	
<input type="checkbox"/> 胸部X-P								
<input type="checkbox"/> 手術同意書	説明	病棟の設備についてお話しします 手術の準備と手術後のリハビリテーションについて説明をします	麻酔科の診察があります 麻酔同意書にサインをします 手術室の看護師が訪問します	手術室より弾性ストッキングとフットポンプをつけてきます		フットポンプとストッキングをはずします	リハビリ日程の説明をします	
<input type="checkbox"/> 輸血同意書		手術の説明・必要な書類を準備します。 手術の承諾書・輸血同意書にサインをします 弾性ストッキングを用意します						
	食事		夜9時以降は飲食禁止です		朝から食事がとれます			
	レントゲン			手術後膝のレントゲンを撮ります				

	術後5・6日目	術後1週間 ／	術後2週間 ／	術後3週間 ／	術後4週間 退院日 ／
行動範囲		車椅子移動ができます デイルームに車椅子で食事に行きましょう 看護師が付き添ってシャワー浴をすることができます	病棟で歩行器あるいは両松葉杖を使って歩行練習をはじめます	一本の杖で歩行ができるようにしましょう デイルームに歩いて食事に行きましょう	退院です
検査		採血をします		採血をします	
薬				薬剤師が退院後の薬剤指導を行います	
処置			傷の処置します		
リハビリ	リハビリ室で歩く練習を行います 理学療法士の指示に沿って行ってください 	歩行器又は両松葉杖を使って歩く練習をします	ロフトランド杖あるいはT字杖を使って歩く練習をします		
説明			外泊ができる方は積極的にしましょう	退院日時の説明をいたします 退院後の生活について注意点を説明いたします 退院日をご家族と相談してください 退院後の注意点を説明します退院指導計画書を作成します 不明な点は担当の医師・担当看護師にお尋ね下さい	
レントゲン				透視室に行って膝の動きをレントゲンで見て確認をします 膝関節のレントゲンを撮ります	

お断り：このスケジュールどおりにすすまない場合がありますが、その時は主治医、看護師から説明があります

平成24年5月改訂